



わかったかな？



令和5年11月28日、上勝町立上勝中学校へ出前教室に行ってきました。

上勝町は、徳島県中央の山間部に位置し、料理に添える「つまもの」や阿波晩茶、柚香（ゆこう）などが特産の豊かな自然に囲まれたところです。

そして、上勝中学校は、「GX」（グリーントランスフォーメーション）活動に熱心に取り組んでいる学校でした。

出前教室では、全校生徒26名に対して「検察庁の役割や検察官の仕事」などについて若手検事が説明したほか、持参した本物の手錠も生徒の皆さんに触れてもらいました。

生徒の皆さんは、真剣に説明等を聞いてくれ、終了後にはたくさん質問をしてくださいました。

また、校長先生をはじめ、たくさんの先生方も聴講していただき、我々にとっても大変良い法教育を広報することができました。

上勝中学校生徒の皆さん、先生方、貴重な時間をいただき本当にありがとうございました。

また、後日、アンケートも送っていただきありがとうございました！（検察広報官）

- 検察官や弁護士の仕事に興味があったけど、今日の授業でもっと興味が出た。
- 検察庁の仕事は、捕まった人を起訴するだけだと思っていたけれど、事情聴取や事件の捜査など、様々なことを行っているということがとても印象に残りました。
- なぜ法律があるのかと刑罰のある意味を知りました。
- 警察官が全ての仕事をしようと思っていたけど、検察官がいて、犯罪をした人をどうするのか決められるということが印象に残りました。
- 裁判をするまでに色々な刑事手続の流れがあるのがわかりました。

などなど、他にもたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。

